

錦江に生きる

はちにん目

いわもと
たかのり
岩元 貴徳さん (麓自治会)



真剣な表情で、業務に取り組む貴徳さん



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第八回目は、麓自治会の岩元貴徳さんです。

大根占町商工会の事務所を訪ねると、真剣な表情でパソコンに向かう貴徳さんの姿があった。

大根占町商工会に勤務する貴徳さんは錦江町生まれの錦江町育ちだが、現在実家は町外にある。商工会に就職し錦江町への赴任が決まったときは、小躍りするほど嬉しかったと言う。

早速、城元青年団に入団し、麓自治会で一人暮らしを始めた。青年団に入ろうと思ったきっかけを尋ねると、「たまされました」とぼそっと答えた。しかし、3年たった今、青年団での活動が楽しくて仕方ないらしい。

青年団活動が忙しくて、なかなか実家に帰れないのではないかと、にわかに心配したが、貴徳さんいわく、錦江町の人と自然が大好きで、青年団活動以外にも町内のソフトボールチームに所属し、また、休日は錦江町の海岸で釣りやジョギングにしている。余談！多彩な趣味を持つ貴徳さんだが、ストレス発散は銀色の玉を扱う球技との情報を職場から得た。貴徳さんの現在の目標を尋ねると、「経営指導員試験に合格し、早く職場の先輩たちのように指導員になり、町内の商工業者のために頑張る！」と力強く話してくれた。試験に合格するまでは銀玉ともしばしの別れである。

商工会に勤務していると気になるのが転勤であり、貴徳さんにそのことを尋ねると、「やはり避けては通れない道であり、自分が成長する上でも必要性は感じている」と言った。錦江町を離れるのは寂しくないか、との質問には「もちろん寂しい。でも、錦江町を離れても気持ちはずっと錦江町民であり、大きくなって帰ってきて、お世話になった錦江町に恩返しをしたい！」と凱旋を誓った。

最後に「結婚は？」と不躰に聞いたところ、一瞬間が空いてから「ここって過去に恋人募集された方、何名かいましたよね？」と二名ほど恋人募集したことを伝えると、「錦江町の嫁さんが欲しいです」と顔を赤らめた。

「純情青年、岩元貴徳！只今、恋人大募集中心！」

錦江町

おもいで写真館

昭和20年

山ノ口海岸での砂金採取の様子



写真のご協力をお願いします

「錦江町思い出写真館」に掲載する写真を募集します。
撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。
お借りした写真は責任を持ってお返しします。掲載は受付順とさせていただきます。